

報第 5 号

くま川下り株式会社の経営状況について

くま川下り株式会社の経営の状況を説明する書類（第 5 5 期事業計画書）
を別紙のとおり報告する。

平成 2 8 年 9 月 6 日提出

人吉市長 松岡 隼人

第 5 5 期 事業計画書

く ま 川 下 り 株 式 会 社

人吉市下新町 3 3 3 - 1

代表取締役 井上 幸生

第 5 5 期

事 業 計 画 書

自 平成 2 8 年 3 月 1 日
至 平成 2 9 年 2 月 2 8 日

事業計画

ご承知の通り熊本地震とその長期に及ぶ余震が、本県をはじめ九州全体の経済に大打撃を与えております。当社に於きましては、直接的な施設等への被害こそございませんでしたが、4月16日の本震以降、風評被害によるものが主ですが、7月までの状況として、くま川下り予約客のキャンセルが約4,900名、また、ラフティング利用の教育旅行につきましても、訪問先の変更等で約2,800名のキャンセルが発生しました。このような状況の中、28年度の事業計画の大幅な見直しを余儀なくされ、事業計画書の提出が遅れましたこと、お詫び申し上げます。

平成28年度の目標といたしましては今回のキャンセル分を見込み、くま川下り乗船客数20,500名、ラフティング利用客数1,900名、国民宿舎くまがわ荘の宿泊客数5,400名、休憩宴会客数25,600名と設定し、また、経費をぎりぎりまで節減し、事業活動の維持・継続に努めます。

今後の状況について当社といたしましても会社の存続そのものに関わる事態であり、不安は隠せませんが一刻も早い現状復旧を願いつつ、営業面では12月まで九州ふっこう割利用の企画商品や九州自動車道の周遊割引等、業界全体に対する支援策を有効活用し、集客に努め、財務面においては政府をはじめとする行政等からの支援策や特例措置について最大限活用し極力経費削減を実行し、且つ営業活動の継続、及び受入れ体制の充実を図り売上の回復に努めてまいりたいと存じます。

なお、今期の損失の大きな要因となっております国民宿舎くまがわ荘の宿泊事業につきましては、年々宿泊者数の減少が続く中、管理運営に関する協定の指定期間が平成29年3月迄となっております。

平成11年4月から18年の長きに亘り皆様に支えられ、親しんでいただき、また、会社に対して大きな貢献を果たしてきた国民宿舎くまがわ荘ではございますが、協定の更新に際し、取締役会において長期に亘り検討・協議を重ねた結果、経営の健全化を最優先として、人吉市に対し、次回の協定更新を行えない旨の申し入れをすることで決定し、臨時株主総会において株主の皆様へ承認されました。

夏休みに入りましてから、例年には未だ及びませんがようやくお客様がご来遊くださるようになり、活気が戻ってきたところです。しかし、今後も厳しい状況がしばらくは続くものと思われますので、全役員、全従業員一同より一層会社発展のため、頑張る所存です。

各関係の皆様におかれましては、現状をご理解の上、更なるご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

損益計画書

自 平成28年3月 1日
至 平成29年2月28日

くま川下り株式会社
(単位:千円)

科 目	金 額	
(経常損益の部)		千円
I【営業損益】		
1(純売上高)		
船 賃 収 入	51,574	
国 民 宿 舎 収 入	64,220	
売 店 売 上	6,695	
そ の 他 収 入	22,355	
レストラン 売 上	14,306	
値 引 き	△ 749	158,401
2(売上原価)		
期 首 棚 卸 高	954	
売 店 仕 入	4,746	
当 期 製 造 原 価	87,548	
期 末 棚 卸 高	△ 954	92,294
売上総利益		66,107
3(販売費及び一般管理費)		86,952
営業損益		-20,845
II【営業外損益】		
1(営業外収益)		
受 取 利 息	2	
写 真 取 扱 手 数 料	1,191	
雑 収 入	2,154	3,347
2(営業外費用)		
支 払 利 息	2,514	
雑 損 失	38	2,552
経常利益		-20,050